

第6学年〇組 国語科学習指導案

平成24年〇月〇日 (〇) 第〇校時 指導者 〇〇小学校 〇〇〇〇

1 単元名 伝統文化を楽しもう

2 単元の目標

- (1) 日本の伝統文化に興味や親しみを持つとする。 (関心・意欲・態度)
- (2) 狂言独特の表現や調子のおもしろさを意識し、楽しみながら声に出すことができる。 (読むこと)
- (3) 現代に通じる昔の人のものの見方や感じ方について知ることができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)
- (4) 現代とは違う言葉遣いや言い回しに気付くことができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 目指す子どもを育てるために

① 単元で目指す子ども像

◎ 「柿山伏」などの狂言の作品を読み味わうことを通して、昔の人のものの見方や感じ方について自分なりに考えたり、狂言の作品を音読したりすることにより、伝統文化を楽しもうとする子ども



② 単元を貫く言語活動

言語活動：「おすすめ狂言発表会」を開こう

◎ 本時で身に付けさせたい「言語活動を行う能力」

- 狂言独特の表現や調子のおもしろさに気付く力
- 現代に通じる昔の人のものの見方や感じ方について、気付いたことを発表する力



③子どもの実態

- 5年で学習してきた古典作品（文語詩・古文の音読・漢文の音読）については、自分で音読練習に励んだり、友だちと練習したりしながら楽しんで学習することができた。さらに、古典で使っている言葉や言い回しは、現代のものと違っていることに気付き、昔の人も自分たちと同じように自然の美しさに感動したり、おとぎ話を楽しんだりしていたことなどを理解することができた。
- 意見交流会を開いた際、友だちの考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりすることの楽しさや、話し合うことによって、自分の考えが広まったり深まったりするよさを感じることができた。
- 自分の考えを文章にまとめると、自信を持って発表できる子どもが多い。
- 自分はどう思うかと問われると、すぐには考えが思いつかず、まとまるまでに時間のかかる子どももいる。
- 友だちの考えを受けて自分の考えを伝えたり、友だちの考えを自分の考えに生かしながら話したりすることの苦手な子どももいる。
- 音読が苦手で、すらすらと読むことが難しい子どももいる。

単元の目標との関連で実態をとらえています。

4 学習計画

(総時数 6時間)

時	学習活動	関意	話聞	書く	読む	言語	評価規準
1	○ 「伝えられてきたもの」を読み 伝統文化について知るとともに、 「柿山伏」のCDを聞いた感想を 交流し、学習の見通しを立てる。	○			○		○ 伝統文化について、イメージをもとうと し、進んで考えようとしている。 ○ 「柿山伏」のおもしろさに気付いてい る。
2	○ 「柿山伏について」を読んだり、 DVD「柿山伏」を観たりして話 の筋を捉え、おもしろさを味わ う。				○	○	○ 現代とは違う言葉遣いや言い回しに気 付いている。 ○ 狂言を通して、昔の人のものの見方や感 じ方について理解している。
3	○ グループに分かれ、「柿山伏」 の音読練習をする。				○	○	○ 狂言独特の表現や調子のおもしろさを 意識して、音読している。
4	○ 他の狂言の作品を現代語訳を 手がかりにしながらかみ、感想を 持つとともに、好きな作品を選 ぶ。				○	○	○ 他の狂言作品の大まかな筋を捉え、おも しろさやよさに気付いている。 ○ 昔の人のものの見方や感じ方について 現代と比べながら考えている。
5 (本時)	○ 選んだ作品ごとのグループで 感想を交流し合う。 ○ 選んだ作品のおもしろさが伝 わるように、あらすじをまとめ たり、音読の工夫を考えたりし て「おすすめ狂言発表会」の相 談をする。				○	○	○ 狂言独特の表現や調子のおもしろさ、現 代に通じる昔の人のものの見方や感じ方 について、気付いたことを発表している。 ○ 狂言作品を読んで考えたことを発表し 合い、自分の考えを広げたり深めたりして いる。
6	○ 発表会の準備をして、「おすす め狂言発表会」を開く。				○	○	○ 狂言独特の表現や調子のおもしろさが 伝わるように、工夫しながら音読してい る。 ○ 現代に通じる昔の人のものの見方や感 じ方について、気付いたことを発表してい る。

教材を離れ、他の作品にふ
れる機会を設定しています。

言語活動：「おすすめ狂言発表会」を開こう

～指導要領「読むこと」

言語活動例：オ 文章を読んで自分の意見をまとめ、交流すること

カ 自分の思いや考えが伝わるように、様々な方法で表現すること（音読・朗読・ブック
トーク・読書紹介・本の帯・広告カード・読書郵便）～

第5～6時に単元を貫く言語活動を位置付け、その活動に必要な力を第2～4時で身に付け
ることができるように計画しています。

また、この言語活動は、学習指導要領に示された言語活動例以外のオリジナルです。

5 本時の目標

- 狂言の作品ごとに感想を交流し合うことを通して、狂言独特の表現や調子のおもしろさや、現代に通じる昔の人のものの見方や感じ方について気付くことができる。 (読むこと)

6 学習過程

時間	学習活動・内容	○ 教師の支援 □ 評価
5	<p>1 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 前時に選んだ狂言の作品を確認し、自分の感想(おもしろいと思ったところ)を読み直す。</p> <p>(2) 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>狂言のおもしろさが伝わる「おすすめ狂言発表会」にするには、どうしたらよいだろうか。</p> <p>① おもしろいところはどこか?</p> <p>② どうやったらおもしろさが伝わるか?</p> </div>	<p>○ 3つの狂言作品の写真などを掲示し、活動への意欲が高まるようにする。</p> <p>○ 自分たちの見つけた作品のおもしろさを生かして「おすすめ狂言発表会」をすること、そのためにどうしたらよいかを相談する時間であることを伝え、活動の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時で考える視点を明確に示しています。</p> </div>
30	<p>2 グループになり、選んだ作品のおもしろさを伝え合う。</p> <p>(1) 感想を交流する。</p> <p>(2) 伝えたいおもしろさを話し合っで決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山伏がトビになって飛ぶところがおもしろいな。そこを演技でやってみたらどうかな。 ・ 太郎冠者が、約束を破って附子を食べちゃうところがおもしろいよね。 ・ 雷なのに、痛い痛いてさわいであるところがぼくたちと似てるね。おおげさに音読してみようよ。 <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>グループとしての考えがまとまるように、各自の考えを出し合うための工夫です。</p> </div> <p>3 おもしろさを伝えるための手法を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解説→音読 ・ 解説→音読+演技 ・ 絵本+解説→音読 など 	<p>○ 友だちの感想がよく聞き取れるように、メモをとりながら聞くようにする。</p> <p>○ メモをもとに感想を出し合い、おもしろさについて話し合わせ、発表会で伝えることを決めさせる。</p> <p>柿山伏のおもしろさについて考えた第2時の学習が、この活動に活かされる。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>この学習で必要な力をどの段階で身に付けたかを明らかにしています。</p> </div> <p>○ グループに1枚大きなメモ用紙を準備し、友だちの感想を聞いて、新たに気付いたおもしろさなどについてまとめられるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>感想を交流することによって、自分が気付かなかった狂言のおもしろさに気づき、自分の深まった考えを相談に生かすことができたか。(メモ・話し合い)</p> </div> <p>○ テレビ番組を作るようなつもりで、おもしろさが伝わるような手法を考えさせる。</p>
10	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) グループで話し合ったことを確認する。</p> <p>(2) 学習感想を書く。</p> <p>友だちの感想や話し合いから、変わったりに深まったりした自分の考えを書く。</p> <p>5 次時の学習の見通しを持つ。</p>	<p>○ 話し合いで決まったことを確認させ、次時につなげるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習を振り返り、自己の学びの高まりを実感できるようにしています。</p> </div> <p>○ 自分の考えの変容や深まりを確認することができるように、学習を振り返って感想を書かせる。</p> <p>○ 次時では、「おすすめ狂言発表会」の準備をして発表会をすることを伝える。</p>

伝統文化を楽しもう

⑤ 狂言のおもしろいところが伝わる「おもしろい狂言発表会」を開催しようか。

・おもしろい狂言の発表会
・おもしろい狂言の発表会

写真・絵

写真・絵

写真・絵

「活動の流れ」

- ① 一人ずつ感想を発表する。
- ② メモを取りながら聞く。
- ③ 共通・・・自分と似ているところ
！新・・・新たに気付いたところ
- ④ ⑤ 伝えたいおもしろいところを話し合おうと決める。
- ④ おもしろいところを伝える方法を相談する。

学習感想

学習の方法を明らかにしています。

学習の内容を明らかにしています。